

グループ1
「思春期の性や健康を
相談したい時」



テーマ
「性に対してオープンな社会の構築」

- 日本の性教育が世界と比べて活発に行われていない現状
- 性に関する悩みを持つ同世代が多い実感
- 悩みを周囲に相談出来ないのではないか

→同世代からはじめて、

全世代が性に対して寛容である未来を望む

まずは、私たちの世代が
「知り・学ぶこと」と「周囲と話すこと」
からはじめる

「知り、学ぶこと」

性教育

「周囲と話すこと」

相談事業

A person's hands are shown holding a red, fuzzy heart-shaped object. The background is a bright blue sky with a vibrant rainbow arching across it. The scene is set against a blurred green field at the bottom. The text 'I 性教育' is centered over the heart.

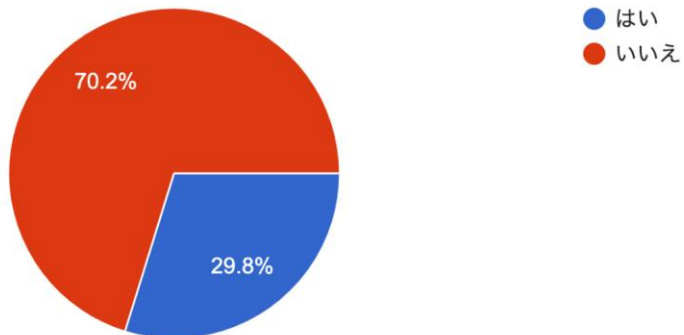
I 性教育

調べること

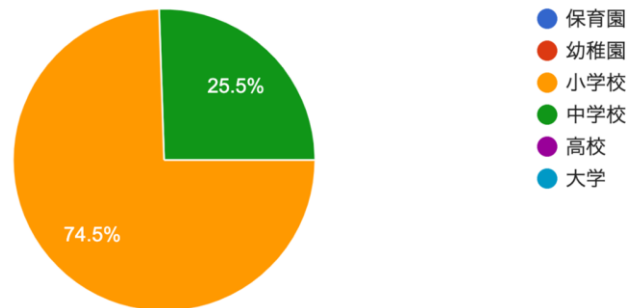
1. 性教育の改善は本当に必要なのか
2. 具体的にどのようなところを改善したら良いのか

アンケート結果

性教育に対して抵抗を感じたことがあるか

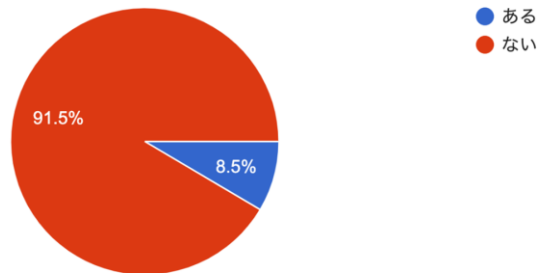


いつから性教育を受けたか



アンケート結果

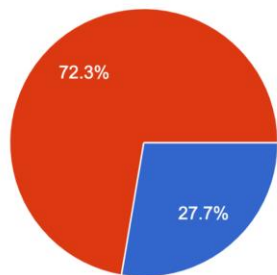
保健の授業で何か不快に感じたことがあるか



- ・ 男女合同の授業が気まずかった
- ・ 男女合同だと少し抵抗がある

アンケート結果

性教育に物足りなさを感じたことはあるか



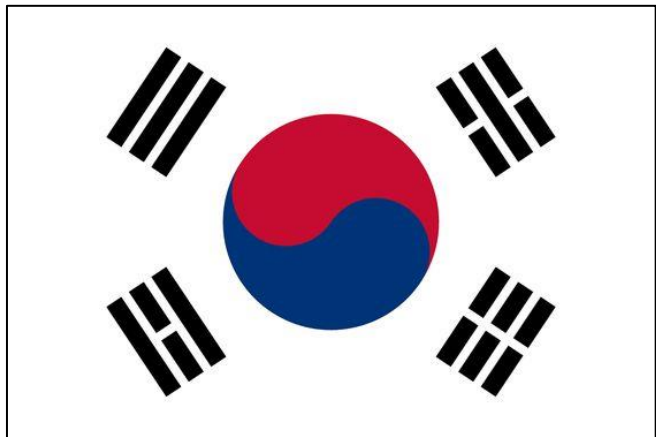
● はい
● いいえ

- ・説明が抽象的で、具体例をあげた方がいいと思った
- ・結局どうすればいいのか、分からなかった。
- ・実際の性被害の現状とその結果についても教えるべき。
- ・海外みたいに思い切ってもいいと思う
- ・異性について詳しくしれなかった（女子校だった）

アンケート結果をふまえて

1. 性教育の改善は**必要**である
2. 具体的には
授業体制（男女別なのか、合同なのか）
授業内容
を改善すべきだ

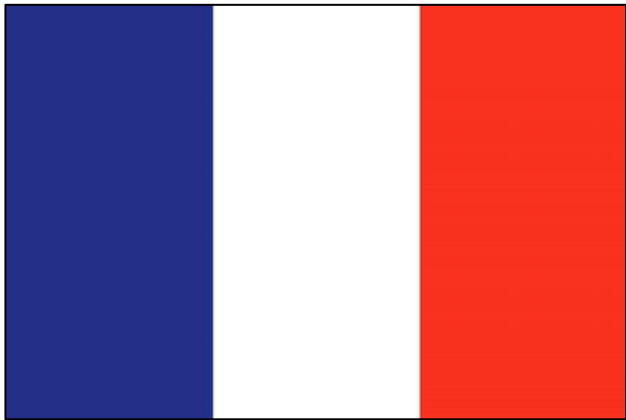
海外の事例



韓国

- ・ 性暴力を受けそうになった時の
対処法
- ・ 実際に性被害にあった時 など
緊急時の電話番号

実用的かつ具体的な教育



フランス

- ・ 避妊具の使用方法
(実際に触れてみる など)
- ・ 避妊具を使用した際の避妊失敗率のデータ

性に対する正しい知識

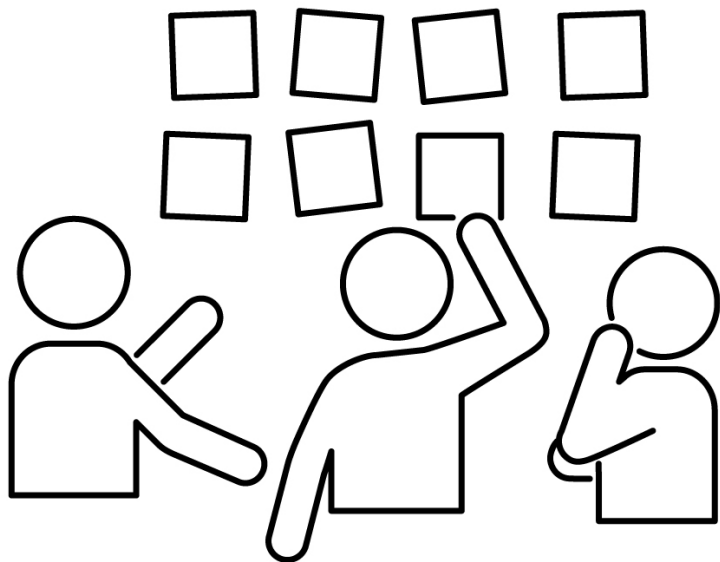


フィンランド

- ・ 婦人科受診に対する抵抗感の払拭
- ・ 個々人の人生に対する自信と自己肯定感

**一度きりのかけがえのない人生を
責任をもって大切に生きる**

男女別クラスの編成



- ・ 男子と女子で部屋を分ける
- ・ 同じ内容でも
男女で伝え方を変える

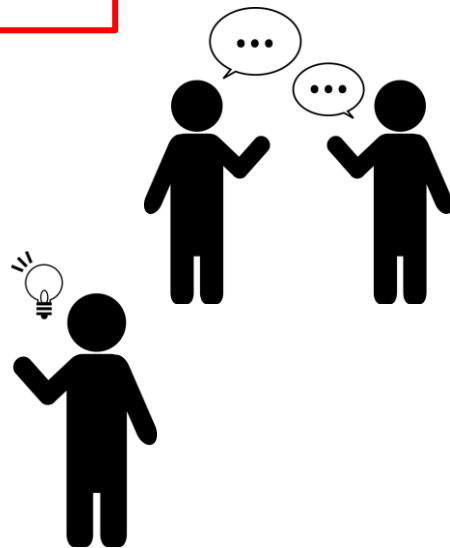
等々...

※男女どちらも、お互いの性に対する正しい知識を持つことが重要

学校の授業や教科書に取り入れる という
最終ゴールに近づくために...

ワークショップの開催

- ・ テーマや内容ごとに
- ・ 参加しやすいオープンな雰囲気



Ⅱ 気軽に相談できる

方法・場所の提案



・テーマ設定

私達はこのグループの目標

「性に対してオープンな社会になるには？」

を達成するために

性に対する悩みを話しやすくする環境作りに取り組みたい

と思い研究を行いました。

アンケート概要・結果

アンケート詳細

心身の成長に対して悩みを抱いたことがあるかその際の相談先の有無、相談しやすい年齢などの心身の成長とその相談方法についてのアンケート

回答期間:2022年10月10日から10月22日

調査対象:10代学生(中学生、高校生、大学生を含む)

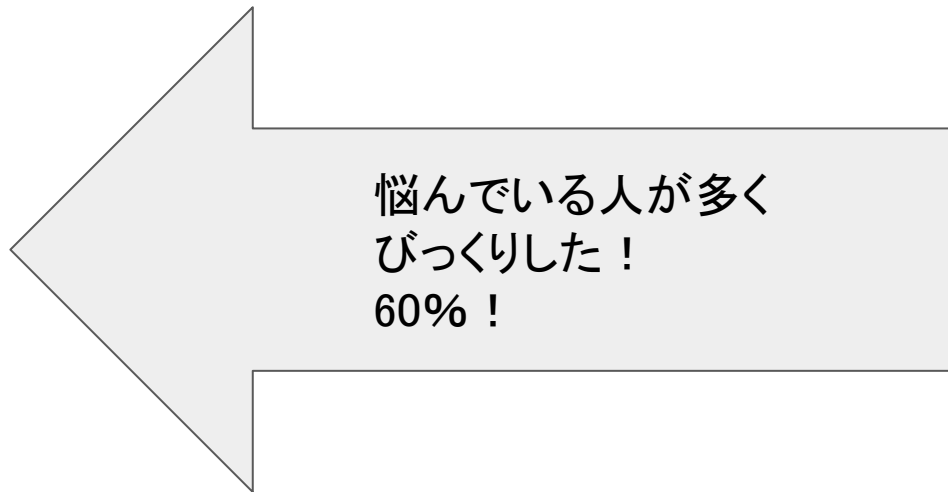
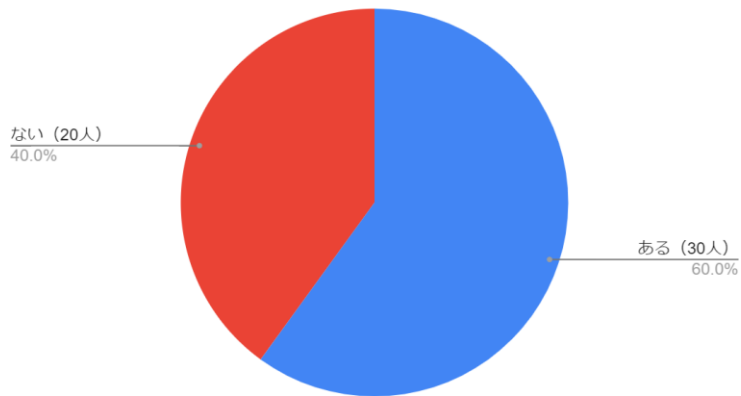
回答人数:50人

→心や体について悩んでいる人が多いと感じた。

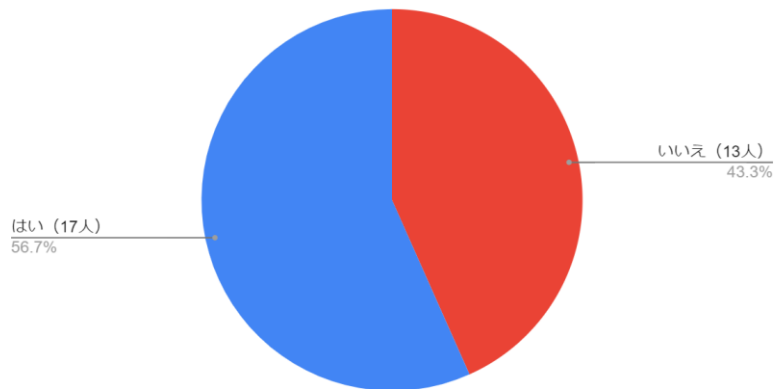
相談することが大変と答えていた人が多かったので、

簡単に相談できるようにしていきたい。

あなたは今までに心や身体のこと
で悩んだり相談したいと思
ったりしたことはありますか。
(50件の回答)



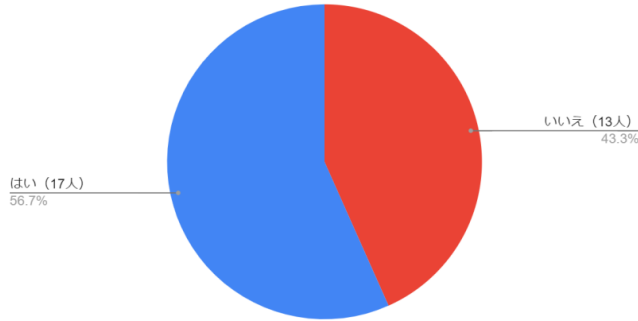
「ある」と答えた方に質問です。
その時に誰かに相談しまし
たか。(17件の回答)



「はい」と答えた人への質問 その時誰に相談しましたか？(内訳)

- ・親(10人)
- ・友人(5人)
- ・学校の先生(1人)
- ・スクールカウンセラー(1人)

「ある」と答えた方に質問です。その時に誰かに相談しましたか。(17件の回答)



あなたが相談しやすい相手の年齢は？

10代 (20人)

20～30代 (15人)

40～50代 (10人)

60代～ (0人)

その他 (5人)

「いいえ」と答えた方に質問です。
その理由を教えてください。
(10件の回答のうち抜粋)

- ・別に相談しなくても大丈夫だと思ったから。
- ・面倒だから。
- ・相談するほどのことではないと思ったから。
- ・聞きにくい質問で、
聞いて気まずくなるのが嫌だった。
- ・そこまで考えられなかったから。
- ・インターネットを使って自分で調べたから。

あなたは誰に相談したいですか？

17件の回答のうち7人が「友人」と回答

アンケート結果から見たこと

同世代の人たちに相談したいというニーズがある！
相談事業をもっと身近に！

→相談相手を選べるように 【マッチング相談】
気軽に立ち寄れるような環境を 【イベント相談】

① マッチング相談


専門のカウンセラーと学生ボランティアを合わせたかたち

→相談者と同世代の人と専門的な知識を持ち合わせている人の

両方がいることにより、様々な事態に対処できるようにする

学生のボランティアにはピアカウンセリングの効果もある

例)

	ニックネーム：花ちゃん
	年齢：20歳
	性別：女
	職業：大学生
	趣味：読書/料理
	一言：気軽に相談してください！
	可能な時間帯：17-20時
	可能な形態：対面/zoom/メッセージ

② イベント相談

ex) キャンプ、音楽鑑賞、ゲーム大会

メリット

- ・ 気軽に行きやすい
- ・ イベントで仲良くなったあとだから話しやすい

デメリット

- ・ イベントがメインになり相談が疎かになってしまうかも
- ・ 相談事業の人でもイベントに参加しないといけない

→ 宣伝や啓発に使うのはあり

期待される効果

① マッチング相談

- みんなが抱えている悩みの事例が一元化され、共有が円滑になる
- 解決事例が増加する
- 事例分析によって解決できる悩みの範囲が広がる
- 複雑な悩みにも対応できるようになり、たくさんの人の悩みを解決できる

② イベント相談

- 悩みを抱えている人同士のコミュニティの形成が行われる
- 悩みを共有することが増え、全体的に悩みが減少